

## 普及活動情勢報告（令和3年8月分）

須崎農業振興センター農業改良普及課

暑さを乗り切れ！夏期の栽培管理を徹底 ～甘とう現地検討会が開催されました～



夏期の管理を周知する様子

7月16日に、JA高知県津野山園芸部土佐甘とう部会の現地検討会が梶原町の篤農家ほ場で開催され、19戸の参加がありました。

当課からは、栽培中期に実施すべき整枝管理の例や、高温期の栽培管理で問題となる尻腐れ果発生対策について説明しました。農家からは、整枝の時期・程度や尻腐れ果が発生しやすい果実の大きさ、ほ場条件などについての質問がありました。

当課は、部会や現地巡回で農家の栽培状況に合わせて対策を提案し、夏期～栽培後期にかけての収量・品質向上を支援します。

コロナに負けないぞ！次作に向けた支援策！ ～高知県高収益作物次期作支援事業補助金の周知～



果樹生産者への説明会（7/28）

新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言の影響を受けた農家への支援策「高知県高収益次期作支援事業補助金（7月9日施行）」の公募にあたり、JAは部会農家を対象に、また当課はJAに出荷していない農家に周知や申請支援を行いました。

ポンカン、土佐文旦等の果樹農家33戸、花き（鉢物）農家2戸に対し、7月中旬～8月上旬にかけて、個別巡回や説明会を実施しました。農家からは「申請要件や減収額の計算が複雑だったが、対象品目や必要書類等の確認ができて助かった」等の声が聞かれ、申請を検討するきっかけになりました。

今後も申請希望農家への丁寧な説明に努め、申請に向けた支援を行います。

いよいよ夏秋作の本番！収量増へ向け意識統一 ～第2回米ナス現地検討会を開催～



現地での意見交換の様子

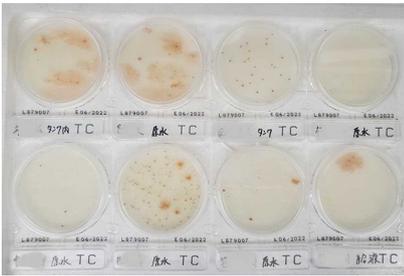
JA高知県津野山なす部会は、7月29日に第2回現地検討会を開催し、8戸（10人）の農家が参加しました。

当日は、新型コロナウイルス感染症対策と暑さ対策に十分留意して実施しました。当課からは、高温期における整枝・摘果・肥培・かん水管理や熱中症対策について指導しました。また、JAからは、出荷状況や発根促進資材についての説明がありました。

現地視察は梶原町の2戸のほ場で行い、農家はお互いの肥培管理や整枝方法などについて、活発に意見交換を行いました。

当課はJAと協力し、今後も巡回指導・調査等を通じて高温期における着果・肥培管理などを徹底的に指導し、米ナスの収量向上を図っていきます。

### ミョウガ花蕾腐敗対策 ～水質調査でリスクを低減～



水質調査キット

JA土佐くろしおミョウガ部会を対象に、栽培の各工程の水質調査を8月4日、6地区10カ所で行いました。

調査は、地区ごとに、灌水に用いる原水や養液栽培システムの液肥タンク、灌水パイプ等から採水し、水質調査キットを用いて一般細菌数を計測しました。この調査結果を活用し、営農指導員とともに夏場の花蕾腐敗対策として水質改善や、養液システム内の掃除を実践するよう啓発していきます。

当課は、今後も関係機関と協力してミョウガの花蕾腐敗の低減のための支援を行っていきます。

### 地域の農産物を活用した商品の開発に向けて ～6次産業化セミナー（実践コースⅡ）～



中村先生による講義の様子

8月5日に、農業技術センターで6次産業化セミナー実践コースの2回目が行われ、管内から3事業者（風工房、のらしごと舎、大丸茶舗）が参加しました。

当課は、7月に実施された講師による個別ヒアリング後、今回のセミナーに向け、各事業者の意向や取り組みの方向性について確認しました。

当日は、参加事業者によるプレゼンテーションや講師による「商品づくり」や「原価計算」に関する講義、事業者ごとの個別相談が行われ、疑問点や学びたい点等について積極的な発言がされました。

先生からのアドバイス等を事業者に繋ぎ、セミナーを通じて新たな商品開発等が行えるよう、支援していきます。